

廿日市市農業振興ビジョン【中間見直し】に関する意見募集の結果について

1 実施期間

令和8年4月23日（木）～令和8年5月22日（金）

2 意見提出先と件数

メール	2件
合計	2件

3 意見及び意見に対する市の考え方（対応）

廿日市市農業振興ビジョン【中間見直し】について、お寄せいただいたご意見とそれに対する考え方については、次のとおりです。

今回、ご意見をお寄せいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

No.	意見要旨	意見内容（原文）	市の考え方
1	少人数でも農地を維持できる仕組みづくりについて	<p>本ビジョンは方向性としては妥当である一方、現場課題との接続に課題があると感じました。</p> <p>特に、担い手不足への対応については、「人を増やす」だけでなく、「少人数でも農地を維持できる仕組み」への転換が必要と考えます。</p> <p>その具体策として、以下の取組を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈り、水路管理、耕起、収穫、防除、獣害柵点検などを作業単位で分解し、受託できる「農地維持支援サービス」の構築 ・ 農業者以外（建設業、造園業、地域企業、シルバー人材等） 	<p>ご意見の「人を増やす」だけでなく、「少人数でも農地を維持できる仕組み」への転換が必要については、まさに解決すべき課題であると認識しております。</p> <p>本市では、これまでも農業法人への支援など農地を維持できる仕組みづくりに取り組んでまいりました。</p> <p>これからも、地域や農業法人等のニーズを取り入れた施策を実施してまいります。</p>

No.	意見要旨	意見内容（原文）	市の考え方
		<p>も含めた作業受託体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業機械（草刈機、トラクター、ラジコン草刈機等）の共同利用・レンタル化 ・ 農地の状況（耕作継続、貸付希望、管理のみ必要等）の地図化による見える化 ・ 相談窓口の一本化による農地・人材・作業のマッチング強化 	
2	農地の区分化について	<p>また、後継者不在農地の扱いについて「未定」が多い現状は大きなリスクであり、守る農地・維持管理農地・転用検討農地などの区分を明確にし、出口戦略を整備する必要があります。</p>	<p>ご意見にあります後継者不在農地については、本市としても大きなリスクであると考えています。</p> <p>本市では、農業経営基盤強化促進法の地域計画の策定に係る「協議の場」を開催し、地域の農業者・担い手の皆さんと地域の農地利用の方針などの地域の農業について話し合っています。</p> <p>これからも、地域の意見を聞きながら、出口戦略を整備してまいります。</p>
3	取組の優先順位について	<p>交流や地産地消の取組は評価できますが、優先順位としては、コスト削減、労働力確保、農地管理の仕組みづくりを最優先とすべきと考えます。</p>	<p>本ビジョンの基本理念・基本方針は、「地産地消ですすめる 持続可能な農業・農村づくり」としており、「地産地消」を中心とし、人材、連携、農地への施策を展開しています。</p> <p>ご提案の施策についても、生産者の意見を聞きながら、しっかりと取り組んでまいります。</p>
4	農業課題以外について	<p>さて、私が今この問題を考えるとき、農業課題だけでは解決できないと感じております。</p>	<p>本市では、中山間地域における分野横断的にまちづくりを推進するために「廿日市市中山間地域まちづくりビ</p>

No.	意見要旨	意見内容（原文）	市の考え方
		<p>生活支援、子育て支援、学校教育支援、環境問題への取り組みなど、切り離せなくなっていて、その為大変難しくなっています。</p>	<p>ジョン」の策定を進めています。 農業課題を含む様々な分野が連携して課題解決を行ってまいります。</p>
5	<p>生産者と需要家のマッチングプラットフォームについて</p>	<p>15ページの流通販売の状況を拝見し、私が常に考えている生産者と需要家の関係をもっと密にできる環境こそ大切になると思っているのですが、この数字を拝見しさらに強く感じた次第です。食料自給率を上げる上にも、食物ロスを減らすためにもこの両者のマッチングプラットフォームを作られて行かれていますでしょうか。</p>	<p>本ビジョンでは、基本目標Ⅱ「交流・連携を通じた農業の潜在力の発揮」を掲げており、後期期間の方向性として「生産者と実需者がつながる中間流通の仕組みづくり」を目指しています。 ご意見にありますマッチングプラットフォームの構築についても、生産者等と意見交換を行い、検討していきたいと考えます。</p>